

2 ラウンドアップによる果樹園外周の雑草防除（園試 果樹部）

樹園地の外周部分等非農耕地に使用する除草剤である。イネ科ササ類、広葉全草種に効果があり、雑草の生育最盛期に、ラウンドアップ50～400倍液を10a当り50～100ℓ散布する。

(1) 背景とねらい

現在果樹園の草生刈り代用として接触型の除草剤が広く利用されているが、園地外部等非農耕地は多年生雑草など生い繁り、接触型除草剤では管理が困難な場合が多い。

ラウンドアップは非選択性茎葉吸収移行型（地下部指向性）の新除草剤で1回の少量散布によってほとんどの草種を根まで枯殺する効果が認められている。

このため1年生雑草はもとより多年生雑草防除にもこの薬剤が極めて有効と考えられたので、使用方法を指導上の参考に供する。

(2) 技術内容

1) 使用場所

果樹園外周部等非農耕地

2) 適用草種

イネ科、ササ類、広葉全草種

3) 散布濃度

50～400倍（第1表使用法による）

散布液量は10a当り50～100ℓ

4) 散布時期

雑草の生育最盛期（開花期前後）

表1. ラウンドアップの適用草種別散布濃度と散布時期

	主 な 適 用 草 種 名		散布濃度	散 布 時 期
一 年 生 雜 草	イネ科 (カヤツリグサ科)	メヒシバ、オヒシバ、エノコログサ、ノビエ、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、イタリアンライグラス、カヤツリグサ類	400 倍	発生が揃い、草丈約 15 ~ 30 cm になった頃の生育盛期
	広 葉	イヌビユ、スベリヒユ、シロザ、アカザ、オオマツヨイグサ、ハコベ、ミミナグサ、ヤエムグラ、イヌガラシ、オオイヌノフグリ		
		ヒメムカシヨモギ、ブタクサ、アメリカセンダングサ、ヒメジョオン、ノボロギク、ノゲシ、オナモミ、カナムグラ	200 倍	発生が揃い草丈約 30 cm 程度あるいはそれ以上になった頃の生育盛期
		イヌタデ、オオイヌタデ、ヤナギタデ、ミゾソバ、タニソバ、ミチヤナギ、ツユクサ、イボグサ	150 ~ 125 倍	発生が揃い、草丈約 15 ~ 30 cm になった頃の生育盛期
多 年 生 雜 草	イネ科	オーチャードグラス、ケンタッキーブルーグラス、レッドトップ、チモシー、イヌムギ、イチゴ、ツナギ、ネズミガヤ	150 倍	5 月以後の生育盛期で草丈 30 cm 以上の時期
	広 葉	ヨモギ、ヨメナ、アキノケリンソウ、スイバ、ヒメスイバ、タンポポ、ハルジオン、オオバコ、ノアザミ、チドメグサ	150 ~ 125 倍	花芽形成期~開花期以後の生育盛期で草丈 15 ~ 30 cm 以上の時期
	イネ科 (カヤツリグサ科)	チガヤ、クサヨシ、トダシバ、ハマスゲ、ミズガヤツリ、ウキヤガラ	125 倍	6 月の生育最盛期以後で草丈 30 cm 以上の時期
	広 葉	イラクサ、ドクダミ、ワラビ、コンダカタバミ類、ゲンノショウコ、ギシギシ		7 月の生育盛期以後で草丈 30 ~ 50 cm 以上の時期
	イネ科	キシウスズメノヒエ、ウキガヤ、チゴザサ、チカラシバ、ギョウギシバ、シバ	125 ~ 100 倍	7 月の生育最盛期以後で草丈 20 ~ 40 cm 以上の時期
				スズキ、ヨシ (アシ)、オギ、マコモ、ガマ
	広 葉	セイトカアワダチソウ、オオアリダチソウ、アソダチソウ、フキ、ハナジョウナ	100 倍	7 月の生育最盛期以後で草丈 40 ~ 100 cm 以上の時期
		イタドリ、オオイタドリ、サクラタデ、ヤマゴボウ、ウド		
		クズ、フジ、ハギ、ノササゲ		7 月以後の生育最盛期でつる長 300 cm 以上の時期
		シロツメクサ、アカツメグサ、セリ		
イネ科 (ササ類)	ネザサ、アズマネザサ、チシマザサ、スズタケ、クマイザサ	50 倍	4 月頃の開花期以後で草丈 40 cm 以上の時期	
広 葉	ヤブガラシ、ノブドウ、カラスウリ、ヤマノイモ、ヒルガオ、コヒルガオ、ジシバリ		7 月以後で生育最盛期	
			8 月頃の花の満開期以後でつる長 300 cm 以上の時期	

(3) 指導上の留意点

- 1) 土壤に接触すると吸着されて不活性化するので希釈液は泥で濁った水は使用しない。また、葉面が土ぼこりや泥でよごれている場合などは散布しない。
- 2) 土壤処理効果は全くないので散布量は雑草の茎葉がしっとりとぬれる程度にする。
- 3) 有用植物への飛散には十分注意する。
- 4) 生育最盛期以前の処理は効果が劣ったり地下部から再生することがある。
- 5) 処理後7～10日間は草生地上部の刈り払いや耕起は行わない。

(4) 試験成績の概要

殺草効果と再生の程度

濃度 10a 当り (薬量/水量)	草種名	殺草効果								再生の程度				
		処 理 後								日 数				
		1	3	5	10	15	20	30	45	10	20	30	45	60
0.5 $\frac{l}{50l}$ (100 倍)	ギシギシ		++	+++	×	×	×	×	×			なし	なし	なし
	オオバコ		±	++	+++	+++	+++	×	×			なし	なし	なし
	コウボウ		±	++	+++	×	×	×	×			-2	-1	-1
	ススキ		±	++	++	++	++	++	++			なし	なし	なし
0.5 $\frac{l}{100l}$ (200 倍)	チガヤ		+	+++	+++	×	×	×	×			なし	なし	なし
	オオバコ		+	++	++	++	++	+++	+++			なし	なし	なし
	コウボウ		±	++	+++	×	×	×	×			-2	-2	-2
	ススキ		-	++	++	++	++	++	++			なし	なし	なし
1.0 $\frac{l}{50l}$ (50 倍)	チガヤ		±	+++	+++	+	+	+	+			なし	なし	なし
	ヨシサ		±	+	+	+	+	+	+			なし	-2	-1
	サナハグサ		±	±	±	+	+	+	+			なし	なし	なし
	オオバコ		+	++	++	++	×	×	×			なし	なし	なし
1.0 $\frac{l}{100l}$ (100 倍)	ススキ		+	++	+++	+++	+++	×	×			なし	なし	なし
	ヨモギ		+++	×	×	×	×	×	×			なし	なし	なし
	チガヤ		++	++	+++	-	+++	×	×			なし	なし	なし
	ヨシサ		±	+	+	+	+	+	+++			なし	なし	なし
1.0 $\frac{l}{100l}$ (100 倍)	サナハグサ		±	±	±	+	+	+	+			なし	なし	なし
	メヒシバ		+++	×	×	×	×	×	×			なし	なし	なし
	ススキ		+	++	+++	+++	+++	×	×			なし	なし	なし
	ヨモギ		+++	×	×	×	×	×	×			なし	-2	-1

- (注) 1. 殺草効果の基準
- 効果なし
 - + 効果が認められる
 - + 効果が認められるが葉全体におよばない
 - ++ 葉全体にみられるが茎までおよばない
 - +++ 葉、茎とも草全体に効果がみられる
 - ×
 - ×
2. 再生程度の基準
- なし 全く再生のみられないもの
 - 2 再生の程度が著しく少ないもの
 - 1 全面または明らかに再生がみられるが刈取りを要しないもの
 - 0 刈取りの必要が認められる程度の再生
 - +1 「0」の状態を上廻るもの